

グナター・アン・エル
(ピアノ)

ドブルリユ・プレール
(チェロ)

デュオ・リサイタル

Nathanaël Gouin

©Nikolaj Lund

Bruno Delepelaire

ベルリン・フィル第1ソロ・チェリスト
盟友の実力派ピアニストと贈る
日本初リサイタル

Bruno Delepelaire, Cello &
Nathanaël Gouin, Piano
DUO RECITAL

シューベルト:
アルペジオーネ・ソナタ 短調 D821

Schubert: Arpeggione Sonata in A minor D821

プーランク:
チェロ・ソナタ

Poulenc: Sonata for Cello and Piano

ショパン:
チェロ・ソナタ 短調 op.65

Chopin: Sonata for Cello and Piano in G minor, op.65

2023 3/8 [水] 19:00開演(18:15開場)

Wednesday 8th March 2023 18:15 Open, 19:00 Start / Hamarikyu Asahi Hall

浜離宮朝日ホール

都営地下鉄大江戸線「築地市場」駅A2出口すぐ／朝日新聞社 新館2階 TEL: 03-5541-8710

全席指定(消費税込) | 6,000円／学生 3,000円 (※公演当日は要学生証)

お問合せ・お申込み | PCM パシフィック・コンサート・マネジメント 03-3552-3831 (平日10:00~18:00)
www.pacific-concert.co.jp/

プレイガイド | 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く 10:00~18:00) 朝日ホール・チケットセンター 検索

●イープラス eplus.jp/ ●ローソンチケット [Lコード:35982] l-tike.com ※全プレイガイドで学生券取扱い有



主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/パシフィック・コンサート・マネジメント
後援: 在日フランス大使館/アンステイチュ・フランセ日本/一般財団法人 日本チェロ協会

※やむを得ない事情により、曲目等が変更になった場合でも、公演中止を除きチケットの払い戻しは致しかねます。
※就学前のお子様のご入場はお断りしております。託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222

Bruno
Delepelaire &
Nathanaël
Gouin
DUO RECITAL



©Nikolaj Lund

ブリュノ・ドルプレール(チェロ)

Bruno Delepelaire, Cello

1989年生まれ。5歳よりエルワン・フォーレにチェロを学ぶ。2008年にパリのスコラ・カントルムを卒業し、翌年よりパリ国立高等音楽院でフィリップ・ミュレルに師事。2012年にベルリンへ移り、ベルリン芸術大学でイェンス・ペーター＝マインツに、ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーでルートヴィヒ・クヴァントに師事。また、ヴォルフガング・エマヌエル・シュミット、ウェン＝シン・ヤン、ヴォルフガング・ベッチャーのマスタークラスを受講した。

2012年カール・ダヴィドフ国際チェロ・コンクールおよび2013年マルクノイキルヘン国際器楽コンクールで優勝するなど、数々のコンクールで優秀な成績を取っている。また、ヴェルビエ祝祭管弦楽団、EUユース管弦楽団、グスタフ・マーラー・ユージェント管弦楽団でオーケストラの経験を積む。2013年、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の第1ソロ・チェリストに抜擢され、一躍話題となる。そのわずか数か月後には、セミヨン・ビシュコフのタクトでR.シュトラウス《ドン・キホーテ》のソリストを務めた。

ソリストとして、ニース・フィルハーモニー管弦楽団、オルボア交響楽団、ベルリン・バロック・ゾリステン、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、バイエルン室内フィルハーモニー管弦楽団、スタヴァンゲル交響楽団、ボーンマス交響楽団等と共演し、ヴェルビエ音楽祭、ヘレンス音楽祭、ヴァルドレス音楽祭、オーバートーン室内音楽祭、サロン・ド・プロヴァンス国際室内音楽祭等に出演している。

室内楽でも精力的に活動し、カヴァティーナ弦楽四重奏団や「ベルリン・フィル12人のチェリストたち」のメンバーを務める。ベルリン・ピアノ・クァルテットでは、フォーレ、シュニートケ、ブラームスを収録したアルバムを2016年ソニー・クラシカルからリリース、高評を得る。

使用楽器は、マッテオ・ゴフリラー(カロリーナ・ブラベルク財団より貸与)。

ナタナエル・グーアン(ピアノ)

Nathanaël Gouin, Piano

ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝、スウェーデン国際デュオ・コンクール優勝、リヨン国際室内楽コンクール入賞。これまでに、フィルハーモニー・ド・パリ、シテ・ド・ラムジーク、パレ・デ・ボザール、ブリュッセル・フラジエ等で演奏し、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ジャコバン国際ピアノ音楽祭、ラジオ・フランス・モンペリエ音楽祭のほか、各地のラ・フォル・ジュルネに登場している。リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、イル・ド・フランス国立管弦楽団、ブリュッセル・フィルハーモニー管弦楽団、レ・シエクル、シンフォニア・ヴァルソヴィア、フランス放送合唱団、新日本フィルハーモニー交響楽団等のオーケストラと共演し、室内楽ではオーギュスタン・デュメイ、ジャン＝クロード・ペヌティエ、ギヨーム・シレム等と共演を重ねる。

2016年、アルファよりリリースした『ラロ:ピアノ協奏曲』(ジャン＝ジャック・カントロフ指揮リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団)の録音が、各誌で高評を博す。ミラーレから、2017年に『リスト:死のチャールダーシュ、他』を、2020年に『無言歌〜ピアノ作品集』をリリース。ディアパソン・ドール賞を受賞し、ル・モンド紙で「堂々たる音楽家としての地位を確立した」、「紛うことなき大成功」と絶賛された。

フランス生まれ。トゥールーズ音楽院、パリ国立高等音楽院、ジュリアード音楽院、フライブルク音楽大学、ミュンヘン音楽大学で学び、ヴィルクローズ音楽アカデミーでも研鑽を積んだ。またワーテルローのエリザベート王妃音楽チャペルでも学び、マリア・ジョアン・ピリスによる若手音楽家育成プロジェクト(パルティトゥーラ・プロジェクト)に参加し、日本、スペイン、ドイツをはじめ各国で多数のアーティストと共演し話題を呼んだ。



ACCESS

浜離宮朝日ホール

[地図・交通のご案内]

朝日新聞東京本社・新館2階 (TEL: 03-5541-8710)
都営大江戸線・築地市場駅下車A2出口すぐ

[その他の交通]

- 築地駅 東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分
- 東銀座駅 東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 汐留駅 都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 新橋駅 JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分